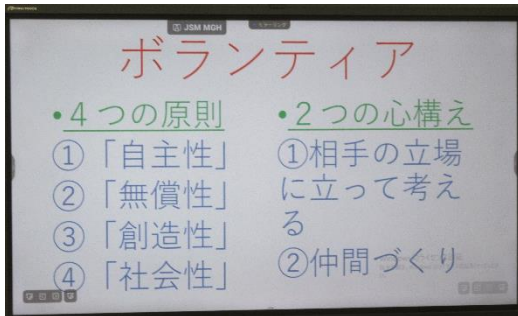




— ふくし学習第4弾！（車椅子体験・シニア体験） —

2日（水）の5・6限目に、車椅子体験・シニア体験がありました。



最初に、南越前町社会福祉協議会の方から「ボランティアって何？」についてお話を聞きました。

ボランティアには、4つの原則「自主性」「無償性」「創造性」「社会性」そして、2つの心構え「相手の立場に立って考える」「仲間づくり」があるそうです。そのことを前提にしてボランティアが行われなければならないということです。

この後、シニア体験をしました。色々な装具を身につけて、シニアになってみました。普段とは違う体の動きになり、いつもならすぐにはできることができにくくなることに気づきました。シニアになるとそうなるのかということに気づくことができました。また、普段なんでもない段差が気になったり、階段の上り下りが難しかったり高齢者の方の大変さに気づくことができました。そして、そっとそばにいて声をかけてくれる人がいることは、とても心強く感じていたようです。



次は、車椅子体験をしました。これまでに乗ったことのある子はほとんどいませんでした。また、押したことのある子もほとんどいませんでした。今回は、車椅子に乗るという体験でなく、乗せる体験をしました。声をかけながら、乗っている人が怖くないように心がけながら車椅子を動かさなければなりません。相手の気持ちになって、相手の立場に立って行う必要があります。子どもたちは、しっかりと、声をかけながら車椅子を押すことができました。



ボランティアの精神・・・「相手の立場に立って」がしっかりできていた1日でした。素晴らしかったです。

来週は、第5弾！盲導犬がやってきます。どんな学習になるでしょう。楽しみです。